

科目名		設計製図A			
担当教員		三留 正		実務授業の有無	有
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形式	実習	時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	製図用語及び製図道具の名称について解説を行い課題を通して道具の使用方法を習得する。製図の基礎を中心に見方、描き方を解説・演習する。木造住宅の各種図面の作図方法と木質軸組み工法の仕組を課題を通して習得する。				
学習目標 (到達目標)	2級建築士試験の設計製図に対応できる知識を習得する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	2級建築士試験の設計製図に対応できる知識を習得する				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	製図の基礎 製図道具の使い方・線の引き方・文字の書き方		線の引き方・線の太さの使い分けなど手描き図面の基礎的な部分を実践しながら道具の使い方を学ぶ。		
2	木造軸組み構造(2階建て住宅)の製図 配置図兼1階平面図・2階平面図の作図		作図手順を学び、作図演習で配置図兼1階平面図及び2階平面図の作図方法を習得する。完成後提出する。		
3	木造軸組み構造(2階建て住宅)の製図 立面図の作図		作図手順を学び、作図演習で立面図の作図方法を習得する。完成後提出する。		
4	木造軸組み構造(2階建て住宅)の製図 断面図の作図		作図手順を学び、作図演習で断面図の作図方法を習得する。完成後提出する。		
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題評価	取組姿勢			建築士試験に於いて二次試験の基礎となる部分です。線の太さと濃淡を意識してぶれないくっきりとした線を中心掛けましょう。課題提出締め切り日は常に意識して、集中力を切らさず取り組むことも練習しましょう。授業時間は集中し、休み時間はしっかり休む等メリハリをつけて臨みましょう。メリハリのある図面を完成させたときの達成感を楽しみましょう。※取組姿勢：授業態度	
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		設計業務、施工管理業務に23年実務に携わる			